

平成30年度 事業報告

I 運動推進事業

1 海洋・海事思想の普及

(1) 美ら海体験教室事業

一般財団法人近藤記念海事財団との共催により、7月7日(土)及び8日(日)に沖縄県読谷村及び宜野湾市においてサンゴ移植体験等の海洋環境学習とマリンスポーツを体験する「第11回美ら海体験教室」を実施した。

沖縄県内から192名が参加し、海洋環境教室及びサンゴ移植体験、ビーチクリーニングを行い海洋環境問題について理解を深めるとともに、ヨット・カヌー等のマリンスポーツ等を通じて海洋・海事思想の普及に努めた。

(2) 我ら海の子展事業

一般財団法人サークルクラブ協会との共催により、船、海や船で働く人、海の環境保全や震災復興などをテーマにした絵画を全国の幼児・児童から募集する「第46回我ら海の子展」を実施した。

全国から6,243点の応募があり、8月17日に都内のホテルにおいて授賞式を行い水嶋国土交通省海事局長から国土交通大臣賞(中学生の部:中1横山智樹さん、小学生高学年の部:小5中里麻衣さん、小学生低学年以下の部:小2馬渕天希さん)に授与するとともに、優秀作品50点と震災復興の願いを込めた「がんばろう日本賞」8点の計61点を表彰した。

これらの作品は、銀座ギャラリー(東京都:8月10日~9月4日)、アクアマリンふくしま(福島県:9月29日~10月28日)、国土交通省1階展示コーナー(東京都:11月12日~16日)、琴平海洋会館(海の科学館)(香川県:12月8日~翌1月6日)、日本郵船氷川丸(神奈川県:1月16日~2月17日)等において展示して海洋・海事思想の普及に努めた。

(3) 褒状山縣賞授与事業

一般財団法人山縣記念財団の支援により、3月15日(金)~17日(日)、褒状山縣賞授与事業を実施した。

全国の褒状受賞者の中の特に優秀な卒団者及び指導者6名に対して褒状山縣賞を授与した。

3月15日に東京都の日本郵船株式会社において授賞式を行い、16日及び17日は横浜市内及び東京都内において海洋・海事研修を行い、海洋・海事知識の更なる向上と今後の海洋少年団活動へのモチベーションの昂揚を図った。

2 海洋少年団運動の広報

(1) 「海の月間」に開催された「海フェスタ新潟」、全国各地での記念式典、みなとまつり、パレード、カッターレース、巡視船体験航海、海浜清掃等の行事に参加し、海洋少年団運動の普及に努めた。

(2) 機関紙「海っ子」を年5回(うち1回は合併号)発行して、各海洋少年団及び関係行政機関、関係団体、各地の図書館等に配布し、海洋少年団運動をPRした。

(3) 日本連盟のホームページを活用するほかFacebookを導入し、海洋少年団に関する情報をインターネットにより内外に発信し、海洋少年団運動の普及に務めた。

(4) ポスター、パンフレット等を各海洋少年団、関係機関等に配布し、海洋少年団運動の普及に努めた。

(5) 海上保安庁等の海事関係機関、一般社団法人日本船主協会等の海事関係団体と連

携し、各種行事への参加を通じて海洋少年団運動をPRした。

- (6) 三原市及び八代市で開催された海事振興連盟が主催するタウンミーティングに参加し、海洋少年団をPRするとともに、団員・指導者募集等の協力を依頼した。

3 海洋少年団運動の拡充／推進／強化・活性化

(1) 運動の拡充

- イ 日本海洋少年団連盟団会員の名簿管理を的確に行い、正確な団会員の現状把握に努めた。新団会員に対して会員証562枚を発行した。
- ロ 新しく設立された霞ヶ浦海洋少年団及び五島市海洋少年団の設立経費、新入団員の制服購入費等の一部を助成した。
- ハ 海洋少年団運動を支援するため、次の海洋活動器材等の整備を進めた。
- (イ) 札幌海洋少年団にカヌー2艇、清水海洋少年団にスタンドアップパドル(SUP)1艇を購入・配布した。
- (ロ) 海上活動の安全確保・徹底のため救命胴衣を姫路海洋少年団に15着、浜田海洋少年団に25着、五島市海洋少年団に25着及び大田区海洋少年団に20着を購入・配布した。
- (ハ) カッターその他海洋活動器材の修繕費として、横須賀海洋少年団に328,320円、四日市海洋少年団に92,776円、南勢海洋少年団に15,552円、佐世保海洋少年団に680,000円の助成を行った。

また、カッター用オールを八戸海洋少年団に5本、藤沢海洋少年団に4本、大田区海洋少年団に4本、四日市海洋少年団に4本、大阪みなと海洋少年団に4本を購入・配布した。

- 二 損害賠償責任保険に加入し、海洋少年団活動の円滑な推進を図った。

(2) 運動の推進

- イ 地域貢献の核となる地区連盟の活動を支援するため、次のとおり助成した。
- 北海道地区連盟(175,122円)、東北地区連盟(336,983円)、関東地区連盟(400,000円)、東京地区連盟(324,828円)、中部地区連盟(44,516円)及び南九州地区連盟(192,575円)

また、地区大会を開催した地区連盟に対し、次のとおり助成した。

- 北海道地区連盟(210,000円)、東北地区連盟(241,797円)、東京地区連盟(275,172円)、中部地区連盟(555,484円)、近畿地区連盟(173,052円)、中国地区連盟(474,297円)、九州北部地区連盟(242,822円)、及び南九州地区連盟(102,558円)

- ロ 団長会議 事務局長会議を開催した。

- ハ 指導体制を維持するため、指導者の実態把握を行うとともに、指導者資格審査委員会を開催し、統括指導者17名及び指導者35名を承認・登録した。
- ニ 海洋少年団運動に功績のあった団体、団員等を表彰した。

(3) 運動の強化・活性化

- イ 各地における新団結成活動等を促進するため、関係行政機関等の協力を得ながら新団結成を積極的に促すとともに、日本連盟職員、地区連盟職員を派遣し、新団設立のための支援、調整等を行った。

- ロ 日本連盟主催による上級指導者養成研修

2月2日(土)及び3日(日)に独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合

センターにおいて、大学教授、日本連盟職員等を講師に、日本連盟認定の「上級指導者養成研修」を実施し、八戸海洋少年団、天王海洋少年団、千代田区海洋少年団、敦賀海洋少年団、三原海洋少年団、宇部海洋少年団及び松山海洋少年団から合計13名が受講した。

ハ 地区連盟主催による指導者養成研修

地区連盟主催による指導者養成研修会等の開催を勧奨するとともに、指導者の養成を推進するため、地区連盟が主催する指導者研修・指導者養成研修等に次のとおり助成した。

北海道地区連盟（38,600円）、東京地区連盟（14,727円）、近畿地区連盟（10,279円）、中国地区連盟（43,220円）

4 海洋環境教育・地域貢献の推進

(1) 環境教育事業

静岡市において清水海洋少年団が「すんぷエコアクション」活動を、愛知県及び三重県において中日海洋少年団、豊橋海洋少年団及び南勢海洋少年団が「伊勢湾・三河湾・五ヶ所湾エコアクション」活動を実施し、自然を大切に作る心やエコの精神などの涵養を図った。

(2) 青い羽根募金活動

各海洋少年団が地域貢献活動として公益社団法人日本水難救済会の実施する「青い羽根」募金運動に協力した。

釧路海洋少年団、千葉新宿海洋少年団、千葉北部海洋少年団、清水海洋少年団、大田区海洋少年団、千代田区海洋少年団、たじり海洋少年団、浜田海洋少年団に日本水難救済会会長から感謝状が贈呈された。

(3) 地域と連携した活動

地域連携、活動活性化のためのチャレンジ事業を募集し、別紙のとおり助成した。

II 全国大会事業

本年夏に東京都内で開催予定の第54回日本海洋少年団全国大会を円滑に進めるため、役員会を1回、実行委員会を5回、団長会議を2回開催し準備を進めた。

III 国際交流事業

1 国際海洋少年団協会年次総会

11月17日～20日に開催された国際海洋少年団協会（ISCA）年次総会香港会議に日本代表団3名を派遣し、各種議題について討議・情報交換を行った。

2 国際委員会

2月16日に東京都内において国際委員会を開催し、平成30年度の事業報告及び国際交流活動収支報告、次年度の事業計画及び収支予算計画が承認された。

3 青少年海外派遣

国際海洋少年団協会加盟国からの招請に基づき、次のとおり派遣団を編成し、相手国の海洋少年団活動に参加するとともに、相互の交流を図った。

香港：指導者1名及び団員5名、韓国：指導者1名及び団員2名

IV 需品事業

- 1 日本海洋少年団連盟規約に基づく制服、制帽及び徽章類を作成して販売した。
- 2 海洋少年団マスコットキャラクター「ペンタン」のぬいぐるみを作成した。

平成 30 年度チャレンジ事業一覧表

I. 4.(3)の別紙
(単位:円)

団	実施内容	助成金額(確定)	備 考
八 戸	海の学校	103,384	7.21 他の団体と連携し、カッターの体験やロープワークをj 実。親子で海に親しむ機会を提供し、海洋・海事思想の普及、PRと実施 一般親子 5 組等参加
	親子でカヌー体験等		9.15 親子カヌー体験等を実施。親子 3 組当参加。これらにより 3 名が入団した。
南 勢	故郷の海を愛する会行事参加	5,000	8.22、10.13.12.8 の 3 回、鳥羽商船学校卒業生の団体とともに伊勢湾海上交通センター、神島の自然観察等を行い、フェリー内で募集案内を行った。
	伊勢えび祭り参加	5,000	6.2 祭りの中で、観客 2,000 人の前で少年団の幟を先頭に制服姿で手旗を行った。チームワーク賞に輝き松阪牛 1kg を獲得。
	障害者海洋スポーツ体験会	0	中部地区大会と重なり、キャンセル。
	耐寒訓練	45,000	1.12 五ヶ所浦から伊勢神宮まで団員のほか小中学生等と 23km を徒歩で踏破した。団主催で 40 年続く伝統行事。
浜 田	海洋スポーツ教室	0	猛暑のため中止
熊 本 火の国	障害児等へのカヌー体験教室	79,206	9.26 子供達が不安な表情から生き生きとした表情に変わっていく様を体験し主催者側としては大きな喜び。
豊 橋	サマーキャンプ	31,860	8.25～26 台風 20 号のため予定していたラフティングは中止し、魚のつかみどり、水族館見学、ネイチャーゲーム等を一般参加の子供達とともに実施。
姫 路	姫路港ふれあいフェスタ	18,977	7.16 ブースでロープワーク体験、活動写真のパネル展示、ステージで手旗披露等を実施
	親子ヨット体験	9,262	8.26 3 組の親子体験となった。これらの体験により 4 名が入団
四日市	カヌー体験指導	0	台風 24 号のため中止
	スキー体験	40,000	2.24 四日市団 22 名、南勢団 7 名、津団 1 名により実施。
横 浜	シーカヤック体験教室開催	123,000	10.14 シーカヤック体験(一般参加 20 名)を実施。
	海藻おしば体験教室開催	166,150	11.25 おしば教室(一般参加 23 名)を実施。
佐世保	カヌー体験教室	200,000	3 月 17 日 カヌー体験を行い少年団関係者のほか 80 名を越える親子が体験参加。
合 計		826,839	